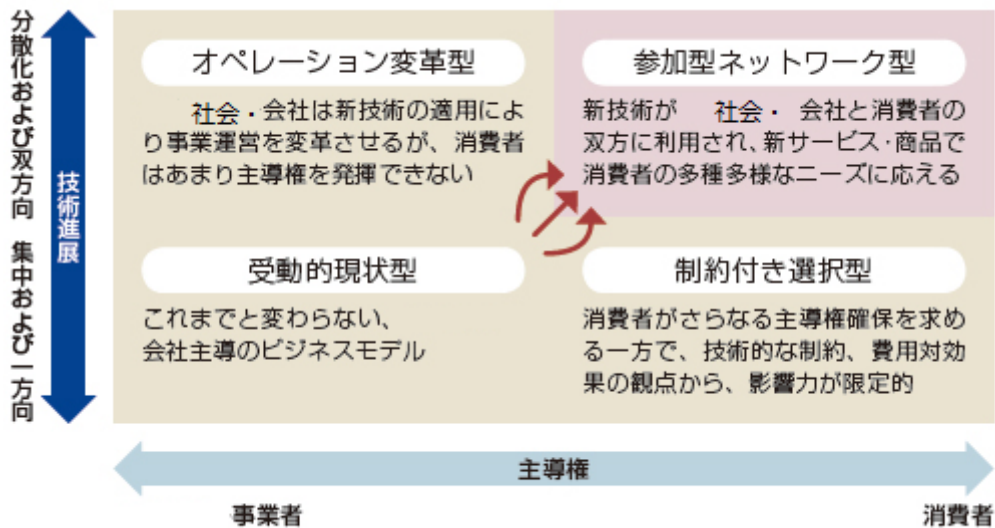


Smart Planet Association

1. スマートプラネットはこれからの社会システムへのアプローチです。下記図参照



2. 我々のアプローチ 「リアルタイム性による価値創造」

このシステム（概念全体）のポイントはリアルタイム性にあります。今までの情報は人間というフィルタを通ったある意味静的情報でした。

しかし、我々の目指すところは人を通さないリアルタイムの客観的な情報です。

それにより、人々は今この瞬間にその人の価値観に合った最適なチョイス（選択）が可能になります。

それによる経済効果は計り知れないものになりスピーディな意思決定を可能にし、24時間提供される情報によりあらゆるビジネスや消費が可能になります

そしてアイデアがあるクリエイティブな人間が今までにない情報のくっつけサービスを創造していくでしょう。

3. 具体的な方法 「機械がつぶやきだす世界」

センサーや機器に情報発信ツールを取り付け（既存施設の機器でも可）それを Twitter で配信しようというものです。その情報が必要か価値があるものかどうかはそれはユーザーが決めるものでそれを使いやすくアプリケーションにするのもユーザー任せです（我々はその開発ツールを無償公開します）

まず Twitter などを使うことによりトラフィックがかかることがない。そしていま流行っているインフラを使うことによって、開発コスト・敷居を低くできる。

1 詳細 :

交通渋滞やエネルギーロス、食糧の過不足など、地球全体でみると、まだまだ無駄が数多くあります。例えば、現在の電力は、少数の大規模発電所から供給されることが多く、電力の需要と供給のアンバランスから、インド、ドイツ、カナダの電力をまかなえるほどの無駄が発生しているそうです。

また交通渋滞なども交通量に合わせて道路を造るというやり方はもう、限界に来ていることは世界中、どこの国でも経験していることのようにです。

そこで、あらゆるものに情報機器を装備し、お互いに情報連携し、賢くすることによって、多くの問題を解決していこうというのが、「スマート・プラネット」の考え方なのです。現在、地球上で起こっている様々な問題は「情報不足」によって生じるものがほとんどです。

内容は大きくわけて「賢い供給施設」、「賢い交通」、「賢い食糧」、「賢いインフラ」

「賢い交通」の例をあげると、シンガポールではリアルタイムで渋滞状況を監視し信号機を制御することによってラッシュ時の渋滞を30%緩和したそうです。これは経済効果だけではなくガソリンの消費節減にもつながり、誰が得をしたかではなくシンガポール全体で得をしているのです。

これは省エネとか個別の問題を解決しようという考え方ではなく、社会の構造（モデリング）の変化なのです。

上記の応用で、58号線で事故が起こった時に皆が迂回ルートを選択しますが、その迂回ルートの信号をコントロール出来れば最適化できます。

いまインターネットの世界では全ての活動はアメイバ状に広がり誰のコントロールも許さない状況です（それが北アフリカの革命などにつながりました）

そこで我々の目指しているスマートプラネット構想もボトムアップから世界を変えていこうという取り組みです。

2：詳細

静的情報かどうか・・・

るるぶ（紙媒体）にしても、たべろぐ（Web）にしても、この情報は静的情報である。

いま、その店の状況はそこにはない。

何人並んでいるのか？

今日のお勧めはなんなのか？？

はたして今日は営業しているのか？？

いままで提供されている情報に「いま」という付加価値を加えること。

それこそがスマートプラネット

いま SNS が持てはやされるのもそこに**今**があるからです。

いま情報は本とは違い、鮮度が大事ですぐ捨てられていいものなのです。

3：詳細

実例としてこういった利用方法があるのか・・・

各地の観光地の海では特に必要なのだけれど、局所的な情報発信が必要です

ビーチに監視カメラをつけて人の込み具合を情報発信できたら、観光のお客様が沖縄での滞在時間を有効・効率的に過ごせます。

具体的には（システムの）画像を定期的に撮影し、人の頭（黒いもの）をカウントします。

（イメージ図1を参照）

最終的には観光のお客様が満足してリターナーになって頂くのが全て基本になります。

ポイントは局所的なリアルタイムな情報が欲しい。だから、機械が自動的に更新する仕組みを作りそれを24時間配信するのです。

これは、いろいろな海の観光に応用できます。

- ・ダイバーは波があればエントリー出来ません。しかしそれは現場の海域に行かないと解りません。しかしそのポイントに波浪計を置き、随時 配信すれば・・・
- ・またそれと同様に湾内に置けば、ジェットサーフィンする人に有効です。
- ・それを逆に使えば、サーファーの人には何処でいい波が立っているかが解ります。
- ・また遊漁船の魚群探知機につけて自動配信すれば、入れ食い状態のポイントがすぐ解ります。

さらに応用します。

- ・これを飲食店に応用します。

団体客は通常、多人数の入れる限られたレストランで**食事させられます（食事を自分で選んでいない）**

国際通り周辺の飲食店がいまどれだけ空いていて、団体客をMAX何人まで受け入れ可能か？随時配信します。観光のお客様は数分でお店を選ぶ事が出来ます。

今日のお勧めを配信するのもいいでしょう。

ポイントは詳細2の「**いま生きている情報**」かという事です。